

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+days 仙台柳生校		
○保護者評価実施期間	2026年1月30日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年1月30日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理担当職員、保育士、教員、音楽に精通した職員など幅広い知識や経験のあるスタッフが在籍しており、様々な目線から活動の計画・実施を行っている。	集団活動と個別支援を組み合わせた支援体制を整えている。集団活動では他児との関わりやルールを学ぶ機会を設け、社会性の向上を図っている。あわせて、自由時間等を活用し、1対1または1対2による個別学習の時間を設定し、個々の課題に応じたきめ細やかな支援を行っている。	現在集団活動と個別活動それぞれに独立した内容が多い状況であるが、集団で見られた課題を個別で補う支援は実践できている。今後は、発達段階に応じて両者をさらに意図的に連動させ、個別で身につけた力を集団で活かす視点を強化するなど、「集団と個別の往復」をより意識した支援を行っていく。
2	各職員の得意分野を活かしたり、外部講師の承知などにより英語、アート、音楽、運動、SST、実験、外出プログラムなどと幅広い活動を取り入れている。	幅広い職員が活動の計画立案に参画することで、活動が固定化しないようにしている。良いものは継続しつつも、現状に満足せず意見を出し合いよりよい活動や体験を利用者に提供できるように努めている。	個々人の経験や知識を活かして活動の計画立案を行っているが、今後内容が固定化していかないように、インターネット等の活用により情報収集に努め、常に支援に関する情報に敏感になれるようなチームとしての意識づくりをしていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方、子どもとの交流の機会が少ないこと。	現在、地域との交流機会の創出については前向きに検討を重ねているが、日々の療育活動の充実を優先していることや、双方のスケジュール調整の難しさなどもあり、実施には至っていない。	土曜日の外出活動として、地域主催のユニバーサルスポーツ体験に参加する機会があった。活動を通して地域の方々と交流することができ、有意義な時間となった。今後もこのような機会を積極的に取り入れ、地域とのつながりを深めていきたい。
2	非常時(地震、火災など)の対策や訓練についてマニュアルの作成や、年2回利用者全員参加の訓練などを実施しているが、保護者の方への周知が十分に出来ていない。	契約時にマニュアルを別紙で渡した後その内容について保護者の方とお話する機会が無いことや、訓練実施時は連絡帳アプリで実施についての一文を入れるのみで口頭での伝達が出来ていないこと。	訓練実施時には口頭で訓練をしたことを送迎時などにお伝えする。またそのような折にふれ、マニュアルの再読を促す声掛けなどを行い非常時の対策についての周知に尽力する。
3			